

高林 敏彦校長先生

『民宿ひなた屋』

山本 甲士/著 潮出版社

プロの釣り師になる夢がかなわず、実家の民宿を継ぐことにした男。預かることになった女子中学生とともに民宿復活に取り組み話です。「積み重ねてきたものはいつか役に立つ」。勇気をもらえる素敵な小説でした。

太田 俊行先生（数学科）

『浜村渚の計算ノート』

青柳 碧人/著 講談社

基本的にはミステリー小説ですが、そのいたるところに数学にちなんだ話題が出てきます。数学が好きな人はもちろん、苦手な人でも楽しめる内容になっていると思います！

久保田 伸子先生（音楽科）

『和菓子のアン』

坂木 司/著 光文社

ただ和菓子の話ではありません。主人公のアンちゃんと日本文化の素晴らしさをも感じていただければ幸いです。

有馬 優起子副校長先生

『生きる ぼくら』

原田 マハ/著 徳間書店

24歳の“人生”さんという青年が人間的に成長していくというお話。幸せになる「きっかけ」はたくさんある、そして丁寧に過ごしていきたいと思わせてくれる本でした。

長浜 瑞穂先生（英語科）

『本日は、お日柄もよく』

原田 マハ/著 徳間書店

印象的な言葉でつぶられていて、グッとくる。「感動」という言葉だけではもったいない。くじけそうな時、背中を押してくれる一冊です。

岩堀 隆正先生（数学科）

『スラムダンク勝利学』

辻 秀一/著 集英社インターナショナル

漫画『スラムダンク』を基にして、スポーツだけでなく、より良い社会生活を送るために必要な精神を学ぶことができます。

和田 美香先生（国語科）

『雨の日も、晴れ男』

水野 敬也/著 文藝春秋

どんな不幸に見舞われても、希望を見出す主人公！「笑えて」「泣けて？」「タメになる」エンターテインメント小説。

高橋 誠先生（体育科）

『スラムダンク勝利学』

辻 秀一/著

集英社インターナショナル

バスケットボールに携わっている・・・というだけでなく、スポーツ選手なら、ぜひ、一度は読んでください。

槇嶋 誉先生 (技術科)

『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸/著 幻冬舎

普段はミステリーを読むことが多いのですが、この小説は音楽(ピアノ)についての物語でした。図書室にはスピンオフも置いてあるので、ぜひ読んでみてください。

磯部 巧先生 (理科)

『雨の日も、晴れ男』

水野 敬也/著 文藝春秋

何が起きても自分次第、大切なことを教えてくれる「笑えて」「泣けて」「タメになる」小説です!!

小野 幹太先生

(すまいるルーム)

『心を整える。』

長谷部 誠/著 幻冬舎

印象的な言葉でつづられていて、グッとくる。「感動」という言葉だけではもったいない。くじけそうな時、背中を押してくれる一冊です。

猪俣 園美先生 (国語科)

『京大芸人』

菅 広文/著 講談社

読んでほしい文学作品は多すぎて選べないので……。笑えて、泣けて、勉強法も書いてある、読書初心者でも楽しめる一冊です。シリーズ化されているので興味があればぜひ!

原崎 萌先生 (養護)

『卵の緒』

瀬尾 まいこ/著 新潮社

瀬尾まいこさんの本が好きで、デビュー作の『卵の緒』を選びました。どんな形でも、今ある繋がりを大切にしよう和前向きな気持ちになれるお話です。

荒木 亜美先生 (英語科)

『夢をかなえるゾウ』

水野 敬也/著 飛鳥新社

「そもそも成功するとは何か?」というテーマに対して、堅苦しくなく、でも深く考えられる本です。ぜひ読んでみてください!

井橋 歩花先生 (栄養士)

『西の魔女が死んだ』

梨木 香歩/著 新潮社

学校に行けなくなってしまった中学生のまいが、西の魔女こと祖母の家で生活し成長していく物語です。中学生の時に図書館で読んで感動し、近くの本屋さんに買いに行った作品です。

大塚 美保子先生

(すまいるルーム)

『舟を編む』

三浦 しをん/著 光文社

辞書をつくるお仕事の話ですが、登場人物が魅力的です。辞書を手に取ってぺらぺらめくりたくなります。

渡邊 聡先生 (すまいるルーム)

『働く君に伝えたい  
「考える」の始め方』

出口 治明/著 ポプラ社

基本的にはミステリー小説ですが、そのいたるところに数学にちなんだ話題が出てきます。数学が好きな人はもちろん、苦手な人でも楽しめる内容になっていると思います!

S.S (3年・図書委員会)

『かがみの孤城』

辻村 深月/著 ポプラ社

おもしろいので、ぜひ読んでください。

Y.N (3年・図書委員会)

『変な家』

雨穴/著 飛鳥新社

今までにない、家の間取りから謎を解くという構成と、最後にある事件の全ての答えがわかるところがとても面白いです!

山口 美佐子先生  
(すまいるルーム専門員)

『津軽』

太宰 治/著 新潮社

2年生の国語で学ぶ『走れメロス』で、もし太宰治に興味を持ったらぜひ読んでほしい一冊です。名作です。ユーモアにあふれ、郷土の懐かしい人たちとの交流に、切なく温かい気持ちになりました。太宰作品の中で一番好きです。

M.T (3年・図書委員会)

『あの花が咲く丘で、  
君とまた出会えたら。』

汐見 夏衛/著 スターツ出版

戦時中の日本にタイムスリップした現代の女子高生と特攻隊員の青年の切ない恋の行方を描いたラブストーリーです。ぜひ読んでみてください!

藁品 孝太郎 (学校司書)

『百瀬、こっちを向いて。』

中田 永一/著 祥伝社

切なくて、ぞっとして……、十代の今が大切に思えるような物語です。

松野 小波 (学校司書)

『ポケット詩集』

田中 和雄/編 童話屋

宮沢賢治、まど・みちお、谷川俊太郎などの名だたる詩人達の作品が集められた詩集です。好きな詩を見つけることで、自分の大切なものが見つかるかもしれません。

T.N (3年・図書委員会)

『猛毒生物大図鑑』

長沼 毅/監修 高橋書店

いろいろな生物の実態が知れるので、ぜひ読んでください。

S.K (2年・図書委員会)

『レーターの大河』

斉藤 詠一/著 講談社

戦後、好景気に沸く日本で、銀行員が列車から転落死し、二人の幼馴染が姿を消したお話です。おもしろいのでぜひ読んでみてください。

H.I (2年・図書委員会)

『死亡フラグが立ちました!』

七尾 与史/著 宝島社

タイトルから面白いです。

A.I (1年・図書委員会)

『私達は、月が綺麗だねと  
囁き合うことさえできない』

神田 濤/著 大和書房

切ない遠距離恋愛の話です。1ページに書かれている文字が少ないので、本が苦手な人も読んでみてください。

T.M (2年・図書委員会)

『マスカレード・ホテル』

東野 圭吾/著 集英社

映画化されたストーリーで、ホテルで起こった事件が次々と解決していく所が面白いので読んでください。

S.O (1年・図書委員会)

『闇祓』

辻村 深月/著 KADOKAWA

ゾクゾク~とするようなホラーミステリーです。一つ一つの表現のしかたがより怖くさせます。ぜひ読んでみてください!

F.N (2年・図書委員会)

『ゴリラ裁判の日』

須藤 古都離/著 講談社

ゴリラと人間が裁判するので、めっちゃおもしろいです。

T.K (1年・図書委員会)

『ある閉ざされた  
雪の山荘で』

東野 圭吾/著 講談社

続きがとても気になるのでぜひ読んでみてください。

M.S (1年・図書委員会)

『インシテミル』

米澤 穂信/著 文藝春秋

時給11万2000円のアルバイトに参加した12人が殺し合うミステリーです。面白いのでぜひ読んでみてください!

# 2024 学芸発表会 ビブリオバトル

## 👑 チャンプ本

R.T (2年)

### 『下流志向』

学ばない子どもたち、  
働かない若者たち』

内田 樹/著 講談社

「数学って何のために勉強するの？」  
何のために学び、何を身につけるのか、あらたな  
視点から考えることができます。

K.N (2年)

### 『待ってろ!甲子園』

日比野 恭三/著 ポプラ社

都立青鳥特別支援学校の野球部では知的障がい者  
の球児と顧問が甲子園出場を目指しています。挑戦  
することの素晴らしさが伝わってきます。

## 🏆 準チャンプ本

T.N (1年)

### 『ぎんなみ商店街の事件簿』

井上 真偽/著 小学館

古くからある商店街で起きる事件を、小暮4兄弟の  
brother 編と、焼き鳥屋の3姉妹の sister 編の両方  
から読む新しい読書体験が味わえます。

S.T (1年)

### 『流浪の月』

凧良 ゆう/著 東京創元社

幼児誘拐という事実が真実ではないという、更紗と  
文の二人の関係は、やがて…。2020 年本屋大賞受  
賞作品です。